

第19号

発行日 平成31年3月1日

編集・発行所 宮城県気仙沼市長郷牧通78番地 電話(0226)27-2311

同岩井崎校舎

あの東日本大震災から八年を迎えます。昨年は、被災した校舎から新校舎落成記念事業として、記念式典や講演会、祝賀会、記念碑移設事業など、学校や教育振興会、PTA、同窓会が一体となり実行委員会を組織して勢力的に取り組みを進めました。

同時に校舎復旧に関し、同窓会関東支部や仙台支部をはじめ、各諸団体の皆様から、物心両面にわたり、心温まるご支援を賜り、衷心より感謝申し上げます。

新たな気仙沼向洋高校として、明るい将来に向けて歴史を刻み始めた一年でもありました。

また大津波を受けて、被災した波路上の旧校舎は、気仙沼市の震災遺構の指定を受けて、津波被害の伝承館としてまた、岩井崎プロムナードの災害復旧事業と一体的に整備されて、後世に伝える災害学習の場として、生まれ変わりました。

さらに生徒諸君も、新たな学習環境のなかで「地域から信頼される向洋高生」として、真摯に進路指導に向き合っている姿を垣間見るとき、必ずや震災復興の担い手となるものと確信するところであります。



新たな学習環境で

同窓会長 村上 進

気仙沼市の東日本大震災からの復興十年計画も、残すところ二年間となりました。震災以前以上に街や暮らしを取り戻すためにも、この復興総仕上げ二カ年は重要な時期であります。

しっかりと取り組んでいかなければなりません。

また、復興のリーディングプロジェクト事業の、五十年来の悲願だった大鳥架橋事業供用や、一昨年前には気仙沼市立病院の移転開院、そして三陸沿岸道路の延伸など、復興の形が身近に見える始めてまいりました。

さてこの際に、御礼を申し上げます。二十周年振りに、改定編集に取り



記念式典での会長挨拶



実行委員会より目録贈呈

組んだ「気仙沼向洋高校同窓会名簿」編集にあたっては、同窓諸兄の皆様方の、深いご理解とご協力に対しまして、心から感謝と御礼を申し上げます。学び舎を築いた同窓は、一九九年の建学歴史が経過し、約一万余人を超えて、各界各層での活躍が報じられており、今後益々のご活躍を祈念する次第です。

今年の五月には、元号が変わり、新しい時代がスタートします。

一方では、人口の減少や少子高齢社会、地方創生など取り巻く環境は待ったなしの対応です。

この時こそ、地域に愛され信頼される向洋高校、向洋高校同窓会であるべきと強く思います。

結びに、同窓皆様方のご健勝のご活躍と、同窓会事業へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

時間を大切に!!

同窓会便り 会長 島山 昭伍

故郷を離れて半世紀以上が過ぎた。私の脳裏には何一つ変わらない気仙沼がそこにある。懐かしい一景島の校舎は社会の荒波に揉まれ、更には、岩井崎校舎も大震災で被災し、新校舎に生まれ変わった。これまで母校が歩んできた百十数年は苦難な時代にあつて幾多の困難を乗り越えてきた。この間、地元産業の発展に寄与された多くの諸先輩に敬意を表したい。これから

新たな挑戦!!

さんりく同窓会 会長 志田 惠洋

昭和四十年、気仙沼の街は眩しいばかりの活気と繁栄に満ち溢れ、港を埋め尽くさんばかりの船、船、小さな漁村育ちの私には、想像を絶する光景であった。その歴史のなかで、多くの先人、先輩方が世界の海に確かな航跡を残し、その中心的存在が気仙沼水産高校であったことは、誰もが認め否定する事ができないであろう。だが当時、現在の閉

塞的な状況を誰が予測することができたであろう。この厳しい現実、水産業界が経験したことのない、大きな試練であり、乗り越えなければならぬハードルだと思っている。

沿岸漁業を生業に五十年、海は時として、得体の知れぬ程の恐ろしさを見せる。なのに恵みの海は愛おしい。そして、その海を拓く、それは豊かな海を次世代に残す、という事ではないだろうか。挑戦め向洋健児、かぎりある洋との共存、共栄を目指して。

同窓会便り

学校便り

思いが繋がれば... 情報海洋科情報電子類型 高橋 春義 | 新校舎での人材育成 情報海洋科海洋類型 後藤 和政

今年、8月に待望の新校舎へ同窓会、復旧・復興推進委員会、関係の皆様のご協力をいただきながらお陰様で移転することが出来ました。思い起こせば震災直後の本吉響高校で着の身着のままで行った授業、九条仮設校舎の何も無い実習室で行った国家試験対策などこの7年数ヶ月は何事にも例えられない貴重な体験でした。この新校舎で新たな歴史を刻み、一人でも多くの水産健児を育てていきたいと考えています。お力添えをお願いいたします。



通信運用実習



船艦実習

地域に必要とされる人材づくり 機械技術科 武田 修司

同窓会の皆様のご尽力により、待望の階上校舎に移転できました。新設に伴い、九条校舎に復旧できなかった設備も新たに追加されました。追加された設備は、セパレートリフト、タイヤチェーン等の自動車整備用設備、エンジン性能試験装置、大画面提示装置等のICT設備です。生徒たちが生き生きと実習する姿は我々の想像を超え、感動さえ覚えます。未来の気仙沼を支える人材育成に今後とも邁進していきたいと思っております。



エンジン分解組立実習

階上新工場誕生 産業経済科 船引 裕介

今年度のさんま缶詰生産実習は新校舎落成に向けて旧仮設工場で作ったので、新工場ではまだ始まっていません。しかし、新校舎で行った向洋祭の販売会には、早くから缶詰を求める長蛇の列ができ、地元からの期待を感じました。これに応えられるようにサンマ缶詰製造販売だけでなく、新製品の開発や、未利用資源の開発研究などに取り組んでいきたいと考えております。



階上公民館祭りでのサンマ缶詰と新商品の販売会

編集後記

気仙沼向洋高校同窓会会報「睦水第19号」の発刊に当たり、ご協力をいただきました。左藤校長先生をはじめとして各科の先生方、復旧・復興推進委員会会長の森先輩、各地区同窓会の会長島山先輩、志田先輩、いつもながら事務局の無茶なお願ひにも快く対応いただき、ありがとうございました。新校舎の災害復旧の様子も少しも伝わるように、記録に残るようにと考え、内容を絞って割り付けさせていただきました。

新しい校舎での新しい学校生活が始まりました。この新しい船出に大いに期待しようではありませんか。ここから見える海は青く輝いています。

同窓会会報「睦水」編集委員会

気仙沼向洋高校校歌

一、鼎が浦に生いたちて 建学ここに幾星霜 久遠の歴史 固めつつ 海の文化の象徴と 湾頭高く輝ける おお 気仙沼向洋高

二、望めば遠し太平洋 金波は躍る海の幸 科学の力傾けて 宝庫開かん 使命こそ 我等が担う 誇なる おお 気仙沼向洋高

三、世界にひびく 水産の 誉を捧げん 我等なり 暖流遙か 南より 盛り上り来る 八百潮の高鳴るごとく 謙えなん おお 気仙沼向洋高

平成二十三年三月三十一日に発生した東日本大震災により、未曾有の壊滅的な被害を受けた母校の姿に大きな衝撃を受け、新学期を目前としたこの時期に、在校生はもとより、希望に胸を膨らませて入学をしようとしている新入生の不安、授業はどこでどのように行われるのか、多くの同窓生も自らも被災をしながらもその行方に大きな関心を持っておりました。

他校の同窓会の総会が中止になる中、同窓会の総会が開催され、母校の一日も早い復旧に対する決議が満場一致で可決され、同窓会として熊谷幹夫会長を先頭に母校の復旧・復興に対する取り組みが始まりました。

気仙沼市をはじめ地域の皆さんの力強い賛同、ご指導を得て、村井県知事、小林教育長に新たな場所への早期の復旧・建設を図るようご陳情、県は気仙沼市の南部に平成二十九年度未だでの新築の方針を示し、工事に着手し工期の延長があったものの素晴らしい設備を有する新校舎が多くの皆様のご支援ご協力をいただき完成しました。

入校式を迎え、震災から七年半、教育現場で厳しい現実と向かい合ってきた校長先生をはじめ、諸先輩方のご協力に改めて感謝と御礼の気持ちで胸が熱くなりました。私たちの間に、実は別な心配が



何をすることも最初が肝心
宮城県気仙沼向洋高等学校同窓会
復旧・復興推進委員会
会長 森 琢 男

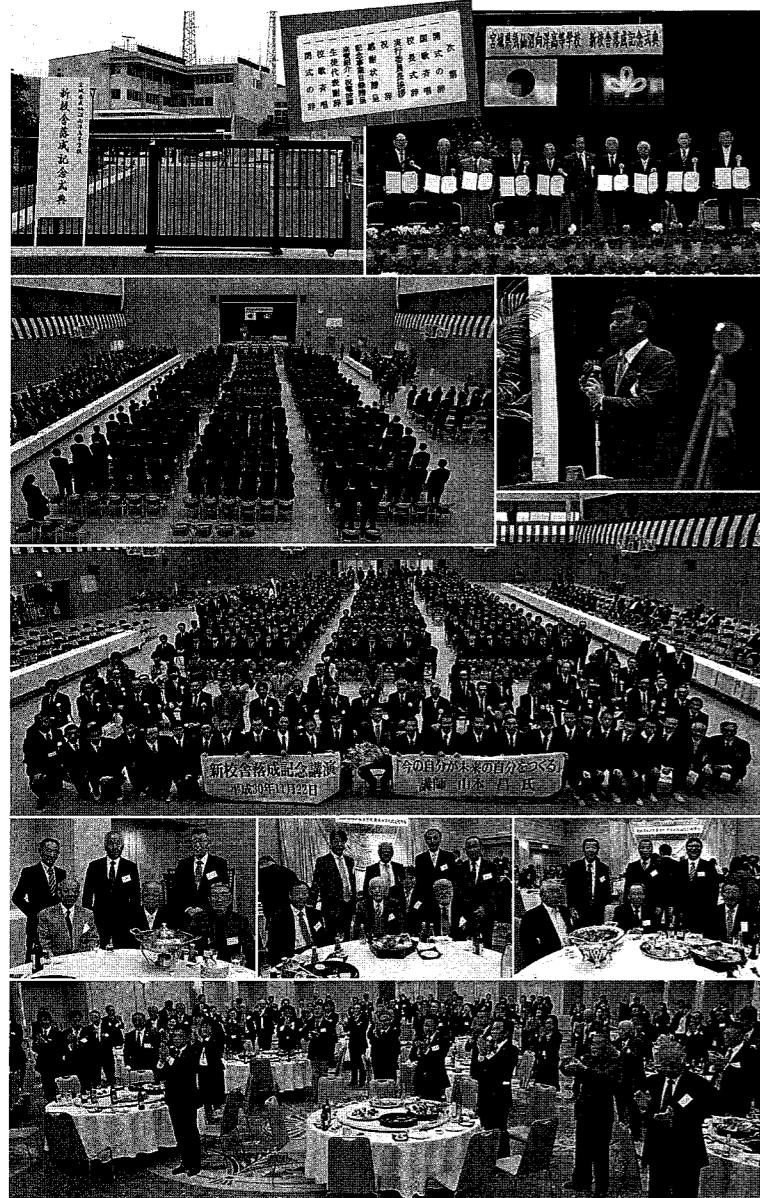
ありました。震災の一年前に宮城県教育委員会が、平成二十三年度から平成三十一年度までの中長期的な県立高校の在り方を示す、新たな県立高校将来構想を策定し、本県の高校教育改革が行われるとの報道があったからです。この本市地区は十年間に約三〇人の中学卒業生が減少する見込みで、教育機会と高い教育効果が期待できる規模の高校をバランスよく配置するよう再編を検討していきます。とありこの機会に再編が加速するのではないかとの思いもあつたからです。

被災したこの現実と在校生の置かれている状況を考えれば、再編議論ではなく、一日も早い校舎の再建だろつとの思いからの行動でした。委員会としての目標は一日も早い復旧・復興であり心ひつとつに活動ができたこと、今振り返ってみても最初の取り組みが肝心だったと思っております。

新校舎が完成し、新たな歴史を刻み始めた向洋高校の発展と在校生・同窓生の皆さんの前途に幸多かれと祈り、最後に好きな言葉を「努力は人を裏切らない。経験ほど価値のある財産はない。これまでのご支援ご協力に感謝申し上げます。これまでの御礼といたします。ありがとうございました。」

新校舎落成記念式典

平成30年11月22日木曜日、新校舎落成記念式典が行われました。参加者189名、本校生徒職員が参加し、盛大に執り行われました。



新校舎落成記念事業報告

- 1 新校舎移転に関する事業について**
- (1)九条校舎閉校式・感謝事業（生徒会主催）：7月24日(火)
 - 閉校式式
 - 生徒による九条地区住民の方々への挨拶訪問
 - 炊き出し
 - (2)PTA親子奉仕作業（PTA主催）：8月19日(日)
 - 新校舎内清掃活動
 - 保護者内覧会
 - 食堂試食
 - (3)新校舎入校式式および完成披露会：8月24日(金)
 - 生徒入校式
 - 県知事からの感謝状贈呈
 - 寄贈ピアノのお披露目
 - 完成披露会(校舎内見学、来賓の方々および階上地区の方々)
 - ・入校式式来校者数+43名+本校生徒・職員(土地譲渡者21名・来賓16名・同伴者6名)
 - ・完成披露会来校者数108名(階上地区住民の方々等)
- 2 記念式典事業・祝賀会事業について**
- (1)記念式典：11月22日(休)
 - ・記念式典来校者数189名+本校生徒・職員(感謝状対象者38名・来賓123名・保護者15名・実行委員12名・一般1名)
 - (2)記念講演会
 - ・講師：山本昌氏 演題「今の自分が未来の自分をつくる」
 - (3)記念祝賀会
 - ・記念祝賀会出席者数80名+本校生徒・職員(感謝状受賞者12名・来賓68名)
- 3 落成記念事業・ピアノ購入事業について**
- (1)教育環境整備事業・校舎メモリアル事業・記念DVD作成
 - ①ICT関連備品整備
 - ・サイネージ(校内情報掲示システム、大型ディスプレイ5台)
 - ・タブレットPC購入(生徒用45台、教員用15台)
 - ・タブレットPC追加購入予定(教員用21台+付属ICT機器等)
 - ②地域防災リーダー育成事業
 - ・地域防災リーダー育成のための先進地視察(神戸、広島方面)
 - ③ジオラマ作成(階上地区模型：階上新校舎・階上旧校舎・九条仮設校舎)
 - ④記念DVD作成(階上旧校舎時代～震災～三校分離～九条仮設校舎～階上新校舎完成まで)
 - (2)ピアノ購入事業(佐賀きずなプロジェクト)
 - ①グランドピアノ購入
 - ②電子ピアノ購入
- 4 同窓会関連事業について**
- (1)記念碑移設事業
 - ・同窓会100周年記念事業建立「潮見校舎記念碑」の阿部長商店敷地内移設
 - (2)記念碑原書保存事業
 - ・同窓会100周年記念事業建立校訓碑の原書の表装を直し、昇降口付近に展示
 - (3)関東支部 菅原清様
 - (4)記念植樹



「睦水」発刊に寄せて
校長 佐藤 浩

同窓生の皆様には、日頃より母校の教育活動や在校生への激励、そして母校の更なる発展のために多大なご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また平成29年4月より着任して2年となりますが、同窓生の皆様には着任当初より大変お世話になり、様々なご指導ご鞭撻をいただき、誠にありがとうございます。誠に感謝を申し上げます。

平成23年3月、階上旧校舎が津波で被災した直後から、同窓生の皆様には母校の校舎再建の実現に向けて絶大なご支援を賜りました。おかげさまで、平成30年7月に階上長磯牧通地区に新校舎が竣工し、8月24日より新校舎での教育活動がスタートしました。新校舎の使用を開始してから数ヶ月が経ち、生徒たちは新校舎の素晴らしいさをお楽しみながら、それぞれの目標を達成させられるように、日々の学校生活を頑張っております。

卒業学年の生徒達は、これまでの先輩達に追いつき追い越せと言わんばかりの勢いで、素晴らしい進路先への内定を勝ち取っております。また、部活動においても生徒達は日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしい実績を残してくれています。宮城県総合体育大会において、柔道部は女子団体3位となりました。ヨッポ部は男子コンバインド2位、男子420級3位で、東北大会に出場しコンバインド5位となりました。相撲部は団体3位で、東北大会出場を果たしました。宮城県新人大会において、相撲部は個人2位、団体5位となり、東北大会出場を果たしました。テニス部は男子ダブルス3位となりました。



記念式典で挨拶する佐藤校長

また、ラグビー部は他校との合同チームながら第5位となりました。新校舎落成記念事業を展開するに当たり、平成30年1月26日に実行委員会を立ち上げ、同窓会長村上進様には実行委員長をお引き受けいただき、また同窓会役員の皆様にも実行委員として様々なアドバイスをいただきながら記念事業を進めていただきました。実行委員の皆様のご理解・ご協力のおかげで、平成30年11月22日に開催した新校舎落成記念式典を盛大にかつ滞りなく挙行することができ、落成記念事業も一区切りをつけることができました。本当にありがとうございました。

同窓生の皆様には、今後も学校運営に対してより一層のお力添えをお願いすることになろうかと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、同窓会の益々のご発展と、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。よろしくお願いいたします。

平成30年度 同窓会一般会計収支予算(案)

収入の部	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考
繰越金	758,043	1,015,993	257,950	
在校学生会費	414,000	424,800	10,800	1,200円×354名
総会会費	240,000	240,000	0	4,000円×60名
ソフトボール参加費	30,000	30,000	0	1,000円×30名
同窓会入会金	120,000	117,000	△ 3,000	1,000円×117名
雑収入	50,000	50,000	0	預金利子・その他
合計	1,612,043	1,877,793	265,750	

支出の部	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考
会議費	50,000	50,000	0	役員会議
事業費	250,000	300,000	50,000	総会・ソフトボール大会卒業記念品・会報
旅費	250,000	250,000	0	関東総会・仙台総会・さんりく総会
負担金	5,000	5,000	0	県産業教育振興会費
慶弔費	150,000	150,000	0	御祝儀等
広告費	60,000	60,000	0	総会案内(三陸新聞広告代)
通信費	60,000	60,000	0	はがき・切手・宅急便等
事務費	30,000	30,000	0	名札・上質紙等
予備費	757,043	972,793	215,750	
合計	1,612,043	1,877,793	265,750	

平成30年度 同窓会特別会計収支予算(案)

収入の部	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考
繰越金	832,215	832,223	8	
利息	80	100	20	
合計	832,295	832,323	28	

支出の部	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考
事業費	0	0	0	
予備費	832,311	832,323	12	
合計	832,311	832,323	12	

平成30年度 同窓会名簿作成運用資金収支予算(案)

収入の部	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考
繰越金	100,000	100,000	0	
利息	0	0	0	
合計	100,000	100,000	0	

平成29年度 同窓会一般会計収支決算書

収入の部	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	758,043	758,043	0	
在校学生会費	414,000	412,800	△ 1,200	1,200円(6600×2回)転字者返金
総会会費	240,000	204,000	△ 36,000	4,000円×51名
ソフトボール参加費	30,000	15,000	△ 15,000	1,000円×15名
同窓会入会金	120,000	120,000	0	1,000円×120名
雑収入	50,000	148,009	98,009	総会御祝儀・ソフトボール御祝儀・預金利子
合計	1,612,043	1,657,852	45,809	

支出の部	予算額	決算額	増減	備考
会議費	50,000	36,000	△ 14,000	役員会・懇親会
事業費	250,000	341,821	91,821	総会・ソフトボール費用卒業記念品・会報
旅費	250,000	98,969	△ 151,031	関東支部総会仙台支部総会
負担金	5,000	5,000	0	県産業教育振興会費
慶弔費	150,000	90,000	△ 60,000	御祝儀等
広告費	60,000	29,484	△ 30,516	総会案内(新聞広告代)
通信費	60,000	33,118	△ 26,882	はがき・切手
事務費	30,000	7,467	△ 22,533	総会資料・コサージュ
予備費	757,043	0	△ 757,043	
合計	1,612,043	641,859	△ 970,184	

決算の部
収入合計額1,657,852円-支出合計額641,859円=残高1,015,993円
上記の通り、平成29年度同窓会一般会計収支決算をご報告いたします。なお、残高につきましては、次年度に繰り越します。
平成30年3月31日
宮城県気仙沼向洋高等学校 同窓会事務局 佐藤 隆平

平成29年度 同窓会特別会計収支決算書

収入の部	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	832,215	832,215	0	
利息	80	8	△ 72	
合計	832,295	832,223	△ 72	

支出の部	予算額	決算額	増減	備考
事業費	0	0	0	
予備費	832,311	832,223	△ 87,088	
合計	832,311	832,223	△ 87,088	

平成29年度 事業報告

- 29年 4月 8日 入学式 気仙沼市総合体育館
- 21日 学校三役歓迎会 泰平寿司
- 5月26日 第1回役員会 気仙沼向洋高校
- 6月26日 第2回役員会 気仙沼向洋高校
- 30日 仙台同窓会総会 ホテル法華クラブ
- 7月 8日 関東同窓会総会 ホテルルポール趣町
- 15日 気仙沼向洋高校同窓会総会 気仙沼ホテル観洋
- 9月26日 第3回役員会 気仙沼向洋高校
- 10月14日 ソフトボール大会 気仙沼向洋高校
- 12月 1日 第4回役員会兼忘年会 気仙沼ホテル観洋
- 30年 1月 3日 さんりく同窓会総会 大船渡温泉
- 16日 第5回役員会兼「睦水」第18号発刊打合せ 気仙沼向洋高校
- 3月 1日 卒業式(同窓会入会式) 気仙沼市総合体育館「睦水」第18号発刊

平成30年度 事業計画(案)

- 30年 4月 6日 入学式 気仙沼市総合体育館
- 25日 第1回役員会・学校三役歓迎会 泰平寿司
- 6月25日 第2回役員会 気仙沼向洋高校(九条校舎)
- 29日 仙台同窓会総会 ホテル法華クラブ
- 7月14日 関東同窓会総会 ホテルルポール趣町
- 21日 気仙沼向洋高校同窓会総会 気仙沼ホテル観洋
- 9月21日 第3回役員会 気仙沼向洋高校(階上新校舎)
- 10月13日 ソフトボール大会 気仙沼向洋高校(階上新校舎)
- 11月22日 新校舎開校記念式典 気仙沼向洋高校(階上新校舎)
- 12月 8日 第4回役員会兼忘年会 プラザホテル
- 31年 1月 1日 さんりく同窓会総会 未定(大船渡市内)
- 25日 第5回役員会兼「睦水」第19号発刊打合せ 気仙沼向洋高校(階上新校舎)
- 3月 1日 卒業式(同窓会入会式) 気仙沼向洋高校(階上新校舎)「睦水」第19号発刊

平成29年度 同窓会名簿作成運用資金収支決算書

収入の部	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	100,000	100,000	0	
利息	0	0	0	
合計	100,000	100,000	0	

支出の部	予算額	決算額	増減	備考
事業費	0	0	0	
予備費	100,000	100,000	0	
合計	100,000	100,000	0	

気仙沼向洋高等学校同窓会 会計監査報告書
気仙沼向洋高等学校同窓会 会長 村上 進 殿
平成29年度気仙沼向洋高等学校同窓会一般会計及び特別会計の諸帳簿、貯金通帳を精査したところ、適正、かつ、正確に処理されていることを認めましたのでここに報告申し上げます。
平成30年6月25日
気仙沼向洋高等学校同窓会 監事 川村秀俊・熊谷里華・菅原幹太